



緊急事態宣言が全国に拡大されました。人と人の接触を8割減らさなければならないということのようです。朝の通勤電車のようなすもかなり変わってきました。いままで絶対に座れなかった座席が、最近では余裕で座れるようになりました。しかも一つ席をあけて・・・これはありがたい、ゆっくり座って通勤できる・・・世間では不要不急の外出を控え、テレワーク（在宅勤務）に変わってきている証拠だと思いますが、しかし、よく考えてみると、喜んでばかりいられないのです。こんな状況でもアナログ的に通勤している先生たちは、まさに「命がけ」で働いているようなものだ思えてならないのです。というのも、万が一コロナウイルスに感染したら、自分の命はもとより、家族や友人・学校にたいへんおおきな迷惑をかけてしまうことになりかねません。通勤という日常の行動において、これほど危機感を覚えるのは異常なことです。

臨時休業が長引いています。再三の延長でとりあえずは5月6日までとなっていますが、これもどうなることかわかりません。長引く学校の休業に対して、学力をどう保障するのか、授業をどう補うのか、など考えなければならないことはたくさんあります。みなさんのストレスも増加し、運動不足も大きな問題となっています。いろいろいわれていますが、しかしいちばん大切なものは何でしょう。学校でクラスター（感染者集団）が発生すれば、オーバーシュート（感染者の爆発的増加）に直結です。いまこそ「命」を守ることを最優先に考えなければならないのではないのでしょうか。

先生たちの勤務も、週2日程度のテレワークが導入されました。一刻も早く正常な社会にもどすために、いまわたしたちがやらなければならないこと、できること、それは簡単なことです。賢みなみなさんに再度お願いします。「STAY HOME！」

さて、先生たちはいま学校で何をしているのかというと・・・臨時休業中の課題をつくったり、学校再開にむけての授業の準備など、やるべきことはたくさんあります。ただ、例年にくらべるとひとつ一つの仕事をていねいにできているのかなと思っています。たとえば、教室です。普段あまり目が行き届かないところまでそうじをして、ピカピカの教室になりました。

